

自然展示室を 一部リニューアル!



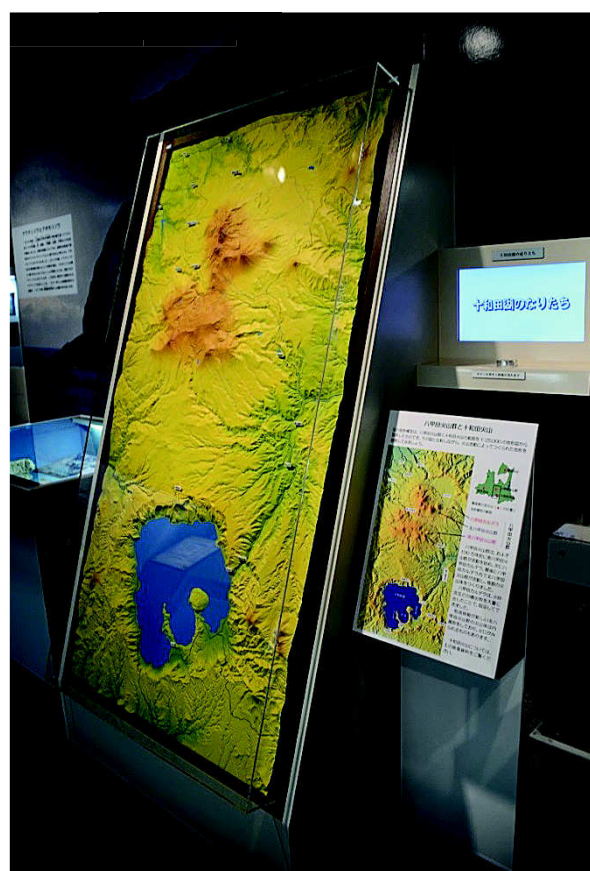
2013年9月、おかげさまで青森県立郷土館は開館40周年を迎えます。今後とも、皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。



青森県の哺乳類



青森県の鳥類



十和田湖のなりたち

「青森県の動物」コーナーの展示替えでは、「青森県の哺乳類」と「青森県の鳥類」を紹介するために解説パネルと展示ボックスを作成し、当館所蔵の剥製を展示しました。展示ボックスは、前面にガラスを設置していませんので、剥製に近づいて細かいところまで見ることができます。さらに、ツキノワグマやノウサギなど哺乳類の剥製には、触ることができます。ぜひ、動物たちの毛の感触の違いを比べてみてください。鳥類の剥製は、できるだけ身近に見られる種類を選び、一年中見られるものと夏・冬に見られるものに分けて展示しました。こちらは、壊れやすいので触ることはできませんが、足やクチバシの長いサギ、鋭い爪を持つトビ、愛らしい顔のミミズクなど、体のつくりや羽の色の違いを、近くからじっくりとご覧になれます。

さらに今回の展示替えでは、「青森の大地」コーナー内にある映像資料「十和田湖のなりたち」についても、内容の再編集と地形模型の設置を行いました。映像についてはこれまで、十和田湖をつくった火山活動をコンピュータグラフィックスで表現し、解説を加えていましたが、今回は、最新の研究によってわかったことを元に再編集しました。噴火の様子を表現したコンピュータグラフィックスは、デジタル技術が進んだことでよりリアルになりました。一緒に設置した地形模型は八甲田・十和田地域の1/25000地形図を元に製作した立体地図で、八甲田火山群と十和田火山の活動によって形成された火山地形を、立体的に見ることができます。巨大噴火によって陥没してできたカルデラや成層火山群の配列など、地上からではわかりにくい地形がよく理解できると思います。(島口 天)



—平成25年度 事業案内—

青森県立郷土館 展覧会・事業のご案内

ようこそ、総合博物館へ

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/culture/kyodokan.html>

青森市本町2丁目8-14 青森県立郷土館

TEL 017-777-1585、FAX 017-777-1588

		開催期間	展覧会
4月		～4/14日(日)	企画展 新収蔵コレクション
		4/27(土)～5/6(月)	特別企画 青森県立郷土館所蔵絵図セレクト展
5月		5/11(土)～5/26(日)	TTHAグループ主催 青森県写真連盟 50周年 プレ写真展
6月		6/7(金)～7/15(月)	企画展 山内博尚コレクション 美しき蝶の世界
7月		7/24(水)～9/1(日)	企画展 吉田初三郎 鳥瞰図展 大正・昭和に描かれた観光
8月		9/13(金)～11/10日(日)	特別展 郷土館開館40周年記念 平尾魯仙
9月		11/16日(土)～1/13日(月)	TTHAグループ主催 日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展
10月		1/25(土)～1/26(日)	日専連青森主催 第23回 日専連 全国児童版画コンクール青森地区選
11月		2/14(金)～2/23(日)	TTHAグループ主催 第3回 東奥児童書道展
12月		3/1(土)～4月中旬	企画展 新収蔵コレクション

平成25年度 常設展示

- ・考古
- ・自然
- ・歴史
- ・民俗
- ・りんご
- ・先人
- ・体験ルーム

開館時間

- 4月1日～4月30日 午前9時～午後5時
 - 5月1日～10月31日 午前9時～午後6時
 - 11月1日～平成26年3月 午前9時～午後5時
- 休館日
□年末年始 12/29～1/3
□館内整理休館・臨時休館
4/15・26、5/7・10・27～6/6、
7/16・23、9/2・12、11/11・15、
1/14、2/13・24・28

- 土曜セミナー(毎週土曜日13:30～15:00/5月～)
- ミュージアム探検隊(土・日曜・祝日・春休み開催)
- 郷土館クイズラリー(夏休み・冬休みに開催)
- 自然観察会(6月16日・10月6日)
- 夏休みこどものくに(7月28日・8月4日)
- 冬休みづくり回し大会(H26.1月12日)
- 授業に役立つ博物館研修(8月6日)
- 博物館実習(8月19日～8月23日)
- あおり街かど探偵団(10月20日・10月27日)



青森県立郷土館指定管理者

- TTHAグループ
- ・株式会社東奥日報社
- ・株式会社東奥アドシステム
- ・株式会社日立ビルシステム
- ・青森設備工業株式会社

常設展観覧料

- 通常期間(3-12月) 一般310円、高校・大学生150円
- 特定期間(1-2月) 一般250円、高校・大学生120円
- 中学生以下は無料、団体割引有り

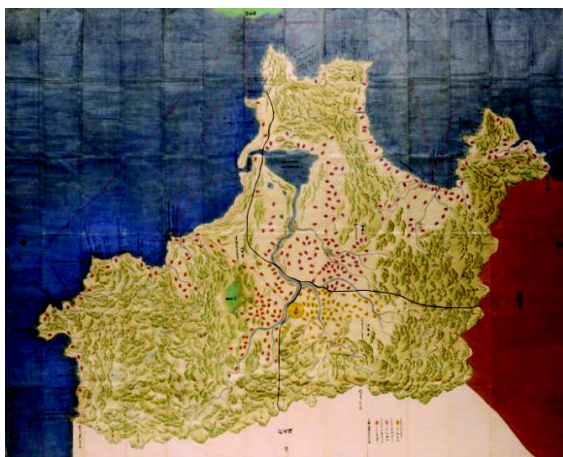
※特別料金についてはお問い合わせ下さい。

GWの企画展 特別企画「青森県立郷土館所蔵絵図セレクト展」

現代のわれわれは、科学的な測量に基づいた正確な「地図」を、簡単に見ることができます。しかしそれは、寛政12年（1800）に伊能忠敬（いのうただたか）の全国測量がはじまり、さらに半世紀を経て、明治政府がその成果を活かした新たな地図を出版して以後の話です。多くの場合、人びとは自分が見たままを経験的に描いて地図にしました。こうした測量に頼らない地図は「絵図」と呼ばれ、現代的な意味での地図と区別されています。

当館は多くの絵図を所蔵していますが、その代表的なものに、タテ393cm・ヨコ488cmの大型絵図「陸奥国津軽郡之絵図」（むつのくにつがるぐんのえず、写真）があります。弘前藩が正保2年（1645）に幕府へ提出した正保国絵図（しょうほうくにえず）のひとつで、現存最古級の津軽領国絵図です。貞享2年（1685）の写しですが、当時の津軽領の全体像を知る上で貴重な歴史資料で、県重宝に指定されています。こうした大型絵図を広げるには場所と人数が必要なので、ふだんは展示していません。期間は限られています。このような公開の機会を利用していただければ幸いです。

ほかにも、弘前城と周辺の村・家並み・街道筋・山野河川などを描いた「弘前并近郷之御絵図」（ひろさきならびにきんごうのおんえず）、探検家の松浦武四郎（まつうらたけしろう）の超人的な努力により作成された「東西蝦夷山川地理取調図」（とうざいえぞさんせんちりとりしらべず）、江戸後期の津軽海峡を描いた「南部・津軽・松前浜通絵図」（なんぶ・つがる・まつまえはまどおりえず）、八戸藩の飛び地を描いた「八戸藩領志和境図」（はちのへはんりょうしわかかいず）など、たくさん見所を持った絵図があります。大型連休には少し足を伸ばして、青森県のむかしの姿をご覧くださいませんか。（本田 伸）



陸奥国津軽郡之絵図

- ◇日時 4月27日（土）～5月6日（月）
- ◇時間 4月 9:00～17:00
5月 9:00～18:00
- ◇場所 当館1階大ホール（特別展示室）
- ◇解説会 4月28日（日）13:30～
【解説者】本田 伸（歴史分野担当）

TTHAグループ主催 青森県写真連盟50周年 フレ写真展

1964年創立された青森県写真連盟では、「感動のシーンふるさと発信」をモットーに、青森の四季をはじめ、民俗風土、人々、祭りなど多彩な作品を撮り続けています。平成26年に創立50周年を迎えるに先立ち、プレ写真展を開催します。同展は281名の会員から応募された作品200点余をA3サイズ規格で展示するものです。今回は、特別協賛で十和田市出身の写真家・岩木 登氏「原生の鼓動展アンコール+（プラス）」も展示されます。また、抽選により人気の高かった展示作品を5名様へ額付にしてプレゼントいたします。さらに、期間中の土曜日には特別講演会とセミナーを行いますので、参加してみたいはいかがでしょうか。（芦名 公雄）

- ◇期間 5月11日（土）～5月26日（日）
- ◇時間 9:00～18:00
- ◇場所 当館1階・特別展示室（大ホール）
- ◇観覧料 無料

※常設展を観覧する場合は、別途観覧料が必要となります。



特別講演会&セミナー日程

- ① 5月11日（土）13:30～ 特別講演会Ⅰ
「青森県写真の歩み」
青森県立美術館学芸員主査 高橋 しげみ氏
- ② 5月18日（土）13:30～ 特別講演会Ⅱ
（「国際博物館の日」特別講演会）
「原生の森と水の回廊」
写真家 岩木 登氏
- ③ 5月25日（土）13:30～ 土曜セミナー
「RAW現像とプリント出力」
ピクトリコ（株） 亀田 尚道氏



2011年7月 県写真連盟展応募者一同



作品解説の実施風景

企画展 「新収蔵コレクション」 開催中



企画展「新収蔵コレクション」を、当館大ホールで4月14日(日)まで開催しています。(左写真は、青森市タクシー協会の協力により、観光ガイド乗務員への研修会を開催したときの様子)

- (1) 民俗分野 温湯こけし、かき氷屋台、菓子型
- (2) 自然分野 ヒグマの毛皮、キジの剥製、だんご石、鍾乳石
- (3) 歴史分野 風俗画報、東山道駅路図、各種乗車券類
- (4) 考古分野 土井I号遺跡出土漆製品、青森高校旧蔵土器
- (5) 美術分野 今純三油彩画、野沢如洋水墨画、今克己”善知鳥彫”

生誕130年記念「植物学者郡場寛」



生誕130年を記念して開催された企画展「植物学者 郡場寛」が、11月16日から1ヶ月間、当館大ホールで開催されました。弘前大学の学長を務めたことでも知られる郡

場博士の展示会には、県内はもちろん、県外からもお客様が訪れました。一括して寄贈された資料から、数々の業績を振り返っていたようです。

企画展「さしこ-田中忠三郎着物コレクション-」



民俗研究家・田中忠三郎氏が長年にわたり収集したさしこ着物を展示する企画展が、12月22日から1月27日まで開催されました。1月14日には、高橋博子さん(菱刺し)と須藤郁子さん(こぎん刺し)によるさしこの実演公開が行われました。多くのお客様が、一針一針

丁寧にも刺している様子を熱心に見つめ、時折、実演者との会話を楽しみながら、「さしこ」の世界に引き込まれていました。

TTHAグループ主催 第2回東奥児童書道展



県内の保育園、幼稚園、小・中学校の園児、児童、生徒を対象に作品を募集し、その中から選ばれた508点の作品が2月15日から17日までの3日間、当館の大ホールに展示しました。子どもたちが半紙にのびのびと表現した作品をひと目見ようと、多くの家族連れが訪れ、自分の作品の前で写真を撮る姿もみられました。

★郷土館キャラクター「しゃこちゃんと仲間たち」の紹介2★

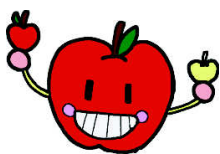


久しぶり！前号で郷土館キャラクター「しゃこちゃんと仲間たち」のそれぞれの名前を覚えてもらいたいから3体が自己紹介をしたけど、今回は残り2体の紹介があるよ。さらに今回は、私たちの活動のお知らせと4コマ漫画もあるから、最後まで楽しんでね！



ねぶきち(♂)

私は、夏が大好きで昔はよくねぶた祭りでは大暴れたもんだ。今は引退した身だが、いまだにねぶた祭りの時期が近づくと、いてもたってもいられなくなるんだ。



りんたろう(♂)

こう見えて、昔は病害虫と闘ったり、バナナなんかの外国の果物と競いあつたりして大変だったんだ。

今、青森県はりんごの生産量日本一だし、赤だけでなく黄色や緑色の仲間も、県内には300種類くらいいるんだよ。

雪像復元
クジラと
しゃこちゃん達！



1月25日～1月27日までの3日間、「あおり雪灯りまつり」の開催に合わせて、郷土館でもイワキサクジラ(復元)の雪像を作ったよ！一緒に私たちの灯籠も解説員のみんなに作ってもらったから、今度お披露目する機会があったらお知らせするね。

